

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成 24 年 10 月 25 日（木）（19：00～20：00）		
実施場所	南雲集会所	参加人数	18 人
参加対象	南雲地区振興会・南雲地区振興会役員及び住民		
市側の出席者	市長 市民生活課主任、健康支援課主任		
懇談内容	<p>【懇談要旨】</p> <p>1. 発言者</p> <p>① 広域農道(南雲集会所へ向かう道:南雲原本線)の整備を実施して欲しい。</p> <p>② 南雲から漆島に下る道路で毎年雪崩が起きているため、対策を考えて欲しい。</p> <p>③ 南雲に向かう道路は3つあるが、大雪になると閉鎖されてしまう。冬でも安心して通れる道路にして欲しい。</p> <p>A. 関口市長 実際に道路を通り検討していく。</p> <p>2. 発言者</p> <p>除雪に対する周辺地区住民のモラルが低下している。他市では、除雪に関するパンフレットを作成し住民に配布しているところもある。当市でも、住民の除雪に対するモラルの改善策を検討して欲しい。</p> <p>A. 関口市長 「自分の土地の雪は責任を持って自分で処理する」ということを徹底していく必要がある。また、除雪処理組織を作っていく必要がある。</p> <p>3. 発言者</p> <p>過疎化対策には、若者の呼び込みが必要と感じている。その中で、「グリーンライナー」が自分にとって衝撃的であり、とても良い企画だと思い利用させてもらっていた。「グリーンライナー」のような思い切った企画を市で出して欲しい。</p> <p>A. 関口市長 「グリーンライナー」は若手職員から出た案を採用した事業である。今後も職員に斬新な意見を求めながら、良い案は事業化していきたいと思っている。</p>		

4. 発言者

- ① 「グリーンライナー」は運行日(土日のみ)・時間が限定されており、利用者が帰りに渋滞に巻き込まれていると聞く。改善できないか。
- ② 「グリーンライナー」の現在の利用条件の他に、市内の観光名所等を3か所程度巡ることも加えたらどうか。

A. 関口市長

- ① 現在の運行状況と利用状況を確認し、運行日や時間を検討していく。利用者が多いようであれば、バスの運行本数や台数を増やすことも検討していく。
- ② 良い案のため、検討していきたい。

5. 発言者

現在、南雲地区には防犯灯が5つしかない。もう1つくらい増やして欲しい。

A. 関口市長

これまでは事業者から寄付をいただいていたが、市独自でも取り組んでいかなければならない事業と認識している。